



2013 自治労 Vol.17

つべつ

2013.2.26 (火)

発行:自治労津別町役場職員組合 教育宣伝部

賃金引上げの春闘を!

18日に提出した『統一要求書』では、「平均11,000円、2.76%以上」の賃金引上げ要求をしています。昨年実施した「春闘アンケート」の結果から改めて全道の仲間の意識を報告し、今後の交渉強化の重要性を確認します。

生活維持の最低限の要求

アンケートでは、生活の変化について「非常に苦しくなった」が15.3%で、昨年(18.6%)に比べ4ポイント下がり、「苦しくなった」を合わせると55.7%(昨年59.3%)となり、2010年と比較すると12ポイント以上減りました。

「変わらない」が36.2%となったことを踏まえれば、2009年からの最悪期を脱したのは確かといえますが、それでも生活実感は「苦しい」という現実にあることを推測できます。

今年の賃金要求額は、昨年より185円引き上がり、10,889円(昨年10,704円)でしたが、5割以上の組合員が生活苦を訴える実態から、現在の生活を改善まではいかなくとも維持するために、最低限の要求額であると考えられます。

春闘で取り組むべき課題については、「賃上げ要求のたたかい」が引き続き62%の高率で求められており切実な課題といえます。

再任用制度運用に向けて

また、「人員確保の取り組み」や「独自削減に対する取り組み」「社会保障制度の取り組み」が昨年同様に上位を占めました。一方、この間、取り組みを進めてきた「労働基本権・公務員制度改革」が低下傾向にあります。

雇用と年金の接続に係る「再任用制度」の義務化に係る設問に対しては、既に運用されている単組の組合員から現行制度の問題点が多数表記されていました。

自治労はこうした問題点の解消を求め、制度の活用・運用開始に向けて中央段階でも交渉を強めます。2月19日の公務員連絡会地方公務員部会が総務大臣に提出した2013春季要求書においても「段階的定年延長に関わっては、地方自治体においても国に遅れないよう制度設計を進めること。当面は、現行の再任用制度が全ての自治体で確実に実施されるよう総務省として格段の対応をすること」との要求を行い、今後交渉を強化します。

町職としても地方本部内の各単組と連携を図り、「雇用と年金の接続」のための再任用制度の具体的な運用開始に向け、この春闘以降交渉を強めていきます。

本日配布しました 「継続加入申込書」

取りまとめの詳細について、明日配布しますので、ぜひ「保障額の増額」などを家族でご検討ください。(担当:伊藤怜二)

いのちと健康の保障

組合員同士の支えあいによる1年満期の生命共済で、毎年保障が見直せます。お財布に優しい掛金で大きな安心が得られます。組合員本人が加入すれば、配偶者、子どもも加入できますヨ。



市長会「協議の場」すぐ開催を 地方自治否定の愚策に効す②

全国市長会は20日に開いた会議で、政府の地方公務員の給与削減要請に対し『緊急アピール』を発しましたが、森会長（新潟県長岡市長）が会見で訴えた詳細が報道されました。

森会長は「今回の措置は納得できない。政府にはきちんと信頼を回復するような対応をしてほしい」と訴えました。森会長によると市長会内では、給与削減要請そのものに加え、要請に至るまでの経緯に、特に批判が集まっているということです。

多くの市長が問題視しているのは、給与削

減問題を議論した1月の「国と地方の協議の場」がわずか30分で終了したことや、地方のこれまでの人件費削減と職員削減の努力が全く考慮されなかったことなどです。

このため、「国と地方の協議の場」を早急に開き、国、地方双方の公務員の給与・職員定数の在り方についての議論を始めるよう要請しています。森会長は「そういう議論を始めないと国と地方の不信感は広がっていくと思う。それは日本のためにならない」と強調しました。【時事通信より】

給与削減は非正規にも影響

19日に「地方公務員賃金引下げ反対！2.19全国集会」が東京で開かれ全国から約400人が結集しました。

講演で地方自治総合研究所の菅原研究員は「全国防災事業などと理由を付けても、これは交付税の削減でしかあり得ない。これが成功してしまえば、次年度以降、給与以外の項目についても、どれほどの交付税が削減されるか解らない」と指摘しました。

講演の後、あいはらくみこ参議院議員から決意表明があり、「正規職員だけではなく、臨時・非常勤職員にも影響を及ぼす問題であり、多くの労働者の賃金を引き下げる。安倍政権は明らかに官公労をターゲットにしており、今年夏の選挙で私たちの怒りをぶつけるほかない」と述べ支援を訴えました。その後、決議文を採択し、全体で団結がんばろうを行って集会を終えました。【道本部HPより】

参議院
議員

あいはらくみこ

自治労の代表を通じて政策実現を！

公共サービスの再生と組合員・関連労働者の生活改善を実現するためには、自治労を代表する国会議員が必要です。私たちの要求する諸政策の前進のため「あいはらくみこ」さんの活動を支援していきましょう。



町職は第50回定期大会で7月の参議院選挙・比例区で「あいはらくみこ」さんを推薦決定しています。

お疲れさまでした 町村職総決起集会 佐藤佳奈さん
全国青年団結集会 渡部ゆかりさん